

## 一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	1年B巡	単元	実習	教科名	1B_TM脱着	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2026.4.1
総時限	23時限				教科 担当	安生
総時間	36.8時間					古澤
単位数	1					

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

- ①クラッチの交換作業が安全にできる。
- ②ボードオンリフトの取扱いが安全に出来る。
- ③エア・インパクトレンチの取扱いが安全に出来る。

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ① F R 車でのクラッチ交換が安全に出来るようになる。
- ②マニュアルトランスミッションの着脱方法を理解し、安全に出来るようになる。
- ③マニュアルトランスミッションの着脱を通し、設備機器、整備機器の点検、使用方法が出来るようになる。
- ④クラッチの名称、構造、機能が理解出来るようになる。
- ⑤ボードオンリフトの操作が安全に出来るようになる。
- ⑥エア・インパクトレンチの操作が安全に出来るようになる。

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。  
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上  
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）  
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

**5. 準備学習**

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめる。

**6. 学修時間と単位**

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。  
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

